

福祉体験・ボランティア 学習のご案内

総合学習 人間と社会 等

平素より、江東区ボランティア・地域貢献活動センターの推進事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。福祉体験・ボランティア学習の出前授業は、要望があり次第、講師との日程調整をして、区内小・中・高等学校へ出向いていただいております。

市民講師（ボランティアさん）との交流を大切にしながら、地域福祉への理解や日常の学校教育では得られない体験を支援しています。体験やボランティアさんとの出会いが、児童・生徒のボランティア精神の啓発や福祉マインドの醸成につながれば幸いに存じます。



江東区ボランティア・地域貢献活動センター

運営主体	社会福祉法人	江東区社会福祉協議会
所在地	〒135-0016	江東区東陽6-2-17
TEL	03-3645-4087	
FAX	03-3699-6266	



福祉体験・ボランティア学習のお申込み

お申込み

福祉教材
借用書

打合せ

実施

交通費
(謝礼金)
支払い

申込書の提出後（FAX）講師を調整します

- ①日程、講師が決まり次第ご連絡いたします。
- ②福祉教材が必要な体験は、別途手続きがあります。
- ③お申込みは、**希望日から60日前までに**申込書を1体験につき1枚当センターにご提出下さい。（※申込順）

福祉教材「借用申請書」を提出します（体験）

- ①点字盤、車椅子、アイマスク等の福祉教材が必要な体験は、実施日が確定後に当協議会の福祉サービス課にご連絡いただき、申請手続きをして下さい。
(TEL 03-3647-1898)
- ②借用申請書は、学校印が必要となります（※FAX不可）。福祉教材の貸出は無料になりますが、**運搬に関しましては学校負担となりますのでご了承下さい。**

必要に応じて、江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員同席で行います（体験日から約1週間前）

講師指導のもと、講義・体験を実施

配付資料や物品の準備、児童・生徒の統率は学校にお願いします。

交通費・謝礼金の支払い

- ①各体験の「経費欄」をご参照下さい。
- ②原則、体験終了後に現金にてお支払い下さい。
※振込みでの支払いを希望される場合は、打合せまたは体験当日までに必要書類の準備をお願いいたします。

問合せ

部署名

電話

FAX

体験申込み
(講師派遣)

江東区ボランティア・
地域貢献活動センター

03-3645-4087

03-3699-6266

福祉教材の貸出

福祉サービス課
福祉サービス係

03-3647-1898

03-5683-1570

カリキュラム一覧

	内容	時間	講師	ページ
講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア概論 ・ ボランティア活動者のお話 ・ 高齢者施設とボランティア ・ 障害者施設とボランティア ・ 視覚障害者のお話 ・ 災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティア 	約45分	センター職員 ボランティア講師 高齢者施設職員 障害者施設職員 ボランティア講師 ボランティア講師 センター職員 等	2～4
体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点字（※要2時間） ・ 手話（※要2時間） ・ 車椅子介助 ・ 視覚障害者サポート ・ 高齢者疑似 ・ 高齢者ハンドケア ・ 車椅子整備 ・ 災害ボランティアセンター 	約50分	ボランティア講師 障害者団体 ボランティア講師 ボランティア講師 センター職員 等 ボランティア団体 ボランティア団体 センター職員 等	5～8

※センター職員・・・江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員
 ※ボランティア講師・・・江東区ボランティア・地域貢献活動センター
 派遣ボランティア

★ 特記事項 ★

- ①対象は、小学校4年生以上になります。
- ②講義は、学年単位及び全校での依頼も可能です。
- ③体験は原則、クラス単位での実施になります。
- ④依頼に関しまして、「講義」1時間＋「体験」1時間のセットを推奨します。
 (例) 「視覚障害者のお話」全体＋「視覚障害者サポート体験」各クラス
 「高齢者施設のお話」全体＋「高齢者疑似体験」各クラス 等

講 義

①	詳 細
講義名	ボランティア概論（入門編） 福祉体験、ボランティア活動をするにあたり、基本的な原則や心構えなどを「ガイダンス」として学習します。 また、ボランティア・地域貢献活動センターの役割や実際にボランティア活動を始める準備として、「ボランティア保険」や「ボランティア個人登録」について説明します。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 1名
経 費	なし
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	プロジェクター スクリーン ノートパソコン

②	詳 細
講義名	ボランティア活動者のお話 実際に活動している方から、活動内容を踏まえたボランティアの心構えや活動の注意点、はじめたきっかけや醍醐味等をお伺いします。
講 師	ボランティア講師 1～2名
経 費	2,000円(※一人につき、交通費として)
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	講師指定のもの

講 義

③	詳 細
講義名	高齢者施設とボランティア 高齢者施設（特別養護老人ホーム等）でのお年寄りの生活や高齢者の特徴について学習します。また、高齢者施設では、どのようなボランティアが求められているのかお伺いします。
講 師	高齢者施設職員 1～2名
経 費	2,000円(※一人につき、交通費として)
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	プロジェクター スクリーン

④	詳 細
講義名	障害者施設とボランティア 障害者施設（身体障害者・知的障害者等）では、利用者がどのような生活や作業をしているのか、現場のお話をお伺いします。また、障害を理解することで、ノーマライゼーションの考え方を学習します。
講 師	障害者施設職員 1～2名
経 費	2,000円(※一人につき、交通費として)
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	講師指定のもの

講 義

⑤	詳 細
講義名	視覚障害者のお話 視覚障害者の日常生活や普段生活で使用している道具のお話をお伺いしながら、自分達が視覚障害者の方のためにどんなことが役にたてるのか、ボランティア精神育成とともに心の学習をします。
講 師	視覚障害者講師 1名
経 費	3,000円(※交通費として)
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	講師指定のもの
⑥	詳 細
講義名	災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティア 大規模災害が発生した場合、災害ボランティアセンターが立ち上がり、多くのボランティアが必要となります。 災害に対する意識を深めると共に、災害ボランティアセンターの仕組みや活動する場合の心構えや基礎知識を学習します。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 (1~2名) 等
経 費	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 なし ボランティア講師の場合 2,000円(一人につき、交通費として)
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	プロジェクター スクリーン ノートパソコン

体 験

⑦	詳 細
体験名	点字体験（※要2時間） ①点字の仕組みを理解する。 ②点字で自分の名前を打つ。 ③点字で文章を打つ。（学年や時間などで内容変更有り）
講 師	視覚障害者講師 1名 アシスタント 2名（※変更あり） （学校からの最寄りのバス停までの講師送迎をお願いいたします）
経 費	視覚障害者講師 3,000円 他 2,000円（※交通費として）
場 所	教室 等
打合せ	なし
準備品	①点字盤 （1クラス人数分+2個） ②点字用紙 （人数分） ③50音表 （人数分）※教科書記載のものではないので注意 ①の手続きは、当協議会の福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②③は、「日本点字図書館」よりご購入下さい。インターネットでのお申込みや郵送も可能です。 （住所：新宿区高田馬場1-23-4 TEL:3209-0241） ③の50音表は、1枚購入して人数分コピーをして下さい。
⑧	詳 細
体験名	手話体験 手話という言葉を用いて、コミュニケーションの世界を広げ、ノーマライゼーションの理解を深める。
講 師	聴覚障害者福祉推進協議会（2名程度）
経 費	1回の授業につき、1人 3,000円（※講師謝礼として） 1クラス、2人派遣。クラスの数によっては、講師の人数が変わります。
場 所	要相談
打合せ	要相談（※手話体験担当者よりご連絡いたします）
準備品	講師指定のもの

体 験

⑨	詳 細
体験名	車椅子介助体験 車椅子の機能や介助方法を学ぶ。 乗車体験もあわせて、障害者や高齢者の気持ちを理解する。
講 師	ボランティア講師 2～4名
経 費	2,000円(※一人につき、交通費として)
場 所	体育館 校庭(晴天時) 等
打合せ	実施日より、約1週間前
準備品	①車椅子 (1クラス人数の半分の台数) ※手続きは、当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②カラーコーン(8個) ③体育用マット(4枚) ④跳び箱の踏み切り板(4枚) ⑤跳び箱の調整盤(8個) ⑥養生テープ(2個)
注意事項	協力いただけるボランティアの数が少ないため、場合によっては、ご希望に添えないこともあります。あらかじめご了承下さい。
⑩	詳 細
体験名	視覚障害者サポート体験 アイマスク体験を通じ、サポートの方法を学ぶ。
講 師	視覚障害者講師 または ガイドサポート講師(※白杖体験)
経 費	視覚障害者講師 3,000円 (※交通費として) ガイドサポート講師 2,000円 (※一人につき、交通費として)
場 所	固定教室
打合せ	なし
準備品	①アイマスク (1クラス人数分) ②ボックスティッシュ(1箱)他、講師が指定したもの。 ③白杖(※白杖体験のみ) ④カラーコーン(※白杖体験のみ) ※①③手続きは、当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。

体 験

⑪	詳 細
体験名	高齢者疑似体験 高齢にともなう身体機能の衰えを体験を通して学習し、支援の方法について考える。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 他（2～3名）
経 費	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員（なし） ボランティア講師 2,000円（※一人につき、交通費として）
場 所	固定教室
打合せ	実施日より、約1週間前
準備品	高齢者疑似体験セット（1クラス人数の半分数） ※手続きは、当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 カラーコーン(2個)

⑫	詳 細
体験名	高齢者ハンドケア体験 簡単なハンドケアの方法を学び、体験を通じ、高齢者への思いやりや人との繋がり大切さを理解する。
講 師	東京都ビューティーケア赤十字奉仕団(5～6名)
経 費	2,000円（※一人につき、交通費として）
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	①ベビーローション(300ml 2本)※無香料 ②清潔なフェイシャルタオル ③ポット(お湯) ④清潔な洗面器(バケツ等)

体 験

⑬ 詳 細	
体験名	車椅子整備体験 高齢者や障害者を支えている「車椅子の機能」を学ぶとともに、実際にメンテナンスを経験することで、車椅子利用者を支えるボランティア活動を体験する。
講 師	車椅子点検整備ボランティアの会（5～6名）
経 費	なし
場 所	体育館 等
打合せ	要相談
準備品	車椅子(10台程度) ※手続きは、当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ブルーシート その他、講師が指定した物

⑭ 詳 細	
体験名	災害ボランティアセンター体験 災害ボランティアとしての意識を高めるとともに、大規模災害が発生した場合に立ち上がる「災害ボランティアセンター」の仕組みについて学習する。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 他
定 員	20名以上
経 費	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員（なし） ボランティア講師 2,000円（※一人につき、交通費として）
場 所	要相談
打合せ	要相談
準備品	①長机(5脚) ②ホワイトボード(2脚) ※マグネット及びマーカー(数個) ③油性ペン(5本) ④養生テープ(4個)

福祉体験・ボランティア学習 ボランティア講師一覧

敬称略

体験内容	主な派遣ボランティア講師・協力団体名
点字体験	点訳しんせい 他 (江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体)
車椅子体験	登録ボランティア 他
車椅子利用者のお話	江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体 他
車椅子整備	車椅子点検整備ボランティアの会
視覚障害者のお話とサポート体験	江東区視覚障害者福祉協会 他
聴覚障害者のお話と手話体験	江東区聴覚障害者福祉推進協議会 外部指導部 窓口担当 (※講師は別)
障害者施設のお話	区内障害者施設の職員 等
高齢者施設のお話	区内高齢者施設の生活相談員 等
高齢者疑似体験	登録ボランティア 他
災害ボランティアセンター運営シミュレーション	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 他
ハンドケア体験	東京都ビューティーケア赤十字奉仕団
ボランティア活動者のお話	江東ボランティア連絡会 江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体 他

R5年度 福祉体験・ボランティア学習 依頼実績

依頼校数 (江東区内)	9校	小学校(6校) 中学校(2校) 高等学校(2校)
児童・生徒数 (延べ人数)	1462名	小学校(724名) 中学校(194名) 高等学校(544名)

体験内容	小学校	中学校	高等学校	依頼合計
点字学習	4	0	0	4
手話学習と聴覚障害者のお話	0	2	1	3
高齢者擬似体験	0	0	1	1
車いす介助体験	2	0	0	2
視覚障害者サポート体験	2	0	1	3
視覚障害者のお話	1	0	1	2
高齢者施設のお話	0	0	1	1
依頼合計	9	2	5	16

令和5年度 福祉体験・ボランティア学習 依頼校

小学校	有明小学校 第四大島小学校 香取小学校 水神小学校 浅間堅川小学校 第一亀戸小学校
-----	--

中学校	深川第一中学校 深川第八中学校
-----	----------------------

高等学校	大江戸高等学校 第三商業高等学校
------	-----------------------